

平成 26 年度事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 メリジャパン

1. Cadaver training について

1. 札幌医科大学関係

1) 札幌医科大学倫理委員会から平成 26 年 6 月 25 日付けで承認されたセミナーを、2015

年 1 月 23 日（金）・24 日（土）の 2 日間開催した。

プログラムの概要は添付する資料 3-1 のとおり。

2) セミナー受講者のアンケートを見ると評価はおおむね好評であったが、今後の課題も見つかる。

アンケート結果は添付する資料 3-2 のとおり。

3) 日本整形外科学会への後援名義使用について

平成 26 年 9 月 11 日付け文書で申請をしたのを受けて、日本整形外科学会では同年 10 月 8 日の平成 26 年度第 4 回理事会にて本申請についての検討がなされ、同年 10 月 20 日付けで、日本整形外科学会理事長岩本幸英名の「脊椎 MIS Cadaver Seminar に対する後援名義使用について」とする回答文書が出された。

回答内容は添付する資料 3-3 のとおり。

2. 名古屋市立大学関係

1) 平成 26 年 7 月 11 日に名古屋市立大学大学院医学研究科統合解剖学分野植木孝俊教授（以下植木教授）、同大学病院診療科部長（整形外科）大塚隆信教授（以下大塚教授）及び同大学医学研究科長・医学部長浅井清文教授（以下浅井教授）がはちや整形外科病院に来られ、同大学において今後 cadaver training をしていく方針を説明され、後日、常務理事蜂谷裕道（以下蜂谷）及び事務局加集紀子（以下加集）が同大学を訪問し、cadaver training が実施できる見込みであり、早ければ来年 2~3 月に第 1 回目が行われる予定であるとの説明を伺う。

法人としてはこれに全面的に協力していくこととし、今後具体的な事柄を協議していく。

2) 平成 26 年 10 月 23 日に、植木教授より「篤志献血団体不老会に新たな同意を得るため、同意書の発送準備をしている」との連絡をいただく。

3) 平成 26 年 11 月 6 日に植木教授に訪問インタビューをし、同大学がキャダバー・トレーニングセンターの開設に動き出したこと、平成 27 年の夏にはトレーニングを実施するセミナーを開催したい意向を述べられる。（詳しくはメリジャパンニュース vol:7 に掲載）

4) 平成 26 年 12 月 19 日に浅井教授より「医学研究科教授会で手術手技研修の実施に向けた概要を説明し、承認をもらう予定」との連絡をいただく。

5) 平成 27 年 1 月 21 日に植木教授より、愛知県に平成 26 年度「医療介護提供体制改革推進交付金」の申請を予定しているとの連絡をいただく。

6) 平成 27 年 3 月 24 日に植木教授より厚生労働省の「平成 27 年度実践的な手術手技向上研修事業」への応募をする、並びに同年 7 月頃からキャダバー・トレーニングをまず整形外科学領域の手術手技研修より始めたいとの連絡をいただく。

7) 平成 27 年 3 月 31 日に、植木教授、大塚教授と蜂谷、加集が大学で会談し、「平成 26 年度医療介護提供体制改革推進交付金及び地域医療対策支援臨時特例交付金」への名古屋市立大学の申請が受理され、解剖実習室の一部をサージカル・トレーニングセンターとし

て改築すること、本センターは、解剖実習室とは別に設けるため通年キャダバー・トレンジングを行うことが可能であること、本事業を運営するにあたり、蜂谷が名古屋市立大学の客員教授に就任することを伺う。

2. 献体団体との連携について

- 財団法人篤志献体協会への働きかけ

未対応。

- 不老会（名古屋市）への働きかけ

平成 26 年 6 月 16 日に篤志献体団体不老会元顧問鈴木忠男氏に入会並びに理事就任（お願い）の手紙を出し、後日前向きに検討したい旨の返事をいただく。

平成 27 年 2 月 19 日に同氏より「平成 27 年 10 月 14 日（水）14:00 から名古屋市公会堂で開催される不老会の年次総会で、名古屋市立大学の植木教授が講演されるので、宣伝・広報でメリジャパンに協力をお願いしたい。」との要請があり、「ニュースレターやホームページで対応する。」と回答する。

- 札幌医科大学白菊会への働きかけ

未対応。

- 千葉大学への働きかけ

未対応。

- 当法人会員からの支援について

支援特になし。

3. 組織の強化・拡大について

- 理事会の定期開催について

昨年度理事会を平成 26 年 4 月 30 日（水）と同年 10 月 28 日（火）の 2 回開催した。

詳細は議事録（配布済）に記す。

今後も期首と中間期の 2 回開催する。

- 組織の拡大について

- 1) 理事の増員について

未対応。

- 2) 新規入会者の募集について

① 理事小野寺良修より提言のあった第 57 回春季日本歯周病学会での入会案内を、

平成 26 年 5 月 23 日（金）学会会場にて行ったが、成果は得られていない。

② 理事平川和男より提供のあった cadaver training 名簿を現在整理中であり、当該名簿及び事務局作成名簿をもとに、今後入会案内について詰めていく予定である。

③ 平成 26 年 7 月 31 日に、ニューベイシブジャパン株式会社の「正会員（法人会員）入会申込書」を受理し、同年 10 月 28 日開催の同年度第 2 回理事会で入会が承認される。

④ 平成 26 年 9 月 12 日に、ジャパン・オーソ・メディカル株式会社の「賛助会員（法人）入会申込書」を受理する。

⑤ 平成 26 年 11 月 7 日に、日本ストライカ一株式会社の「賛助会員（法人）入会申込書」を受理する。

⑥ 平成 26 年 12 月 15 日に、一般の方 1 名の「賛助会員入会申込書」を受理する。

⑦ 平成 27 年 1 月 19 日に、理事佐藤公治の紹介による一般の方 2 名の「賛助会員入会申込書」を受理する。

⑧ 平成 27 年 1 月 29 日に、医療法人財団岩井医療財団岩井整形外科内科病院 の「正会員（法人）入会申込書」を受理し、同日付けて仮登録をする。

3) 会員数は下記のとおり（3月31日現在）

正会員 26名（うち法人会員3名）

賛助会員 8名（うち法人会員2名）

計 34名（昨年度末比 7名増）

4. 啓発、広報及び情報入手について

1. 市民フォーラム開催（東京）の準備について

未対応。

2. 広報活動について

① ホームページの更新は下記のとおり。

・セミナー開催について(2014.9.17)

・メリジャパンニュース VOL:7 の発行について(2014.12.10)

② 平成26年12月10日に、メリジャパンニュースレターVOL:7を発行する。

③ メリジャパンニュースレターVOL:8の発行準備中であり、4月中旬頃に発行する。

※平成27年2月27日に、名古屋第二赤十字病院副院長佐藤公治先生にインタビューした内容及び札幌医科大学で開催したセミナーレポート等で紙面構成する。

④ パンフレットの活用は未対応。

3. 情報入手について

厚生労働省、日本外科学会および日本解剖学会の動向を注視しているが、特記すべき情報はない。

ただし、本年2月に厚生労働省がキャダバー・トレーニングの評価会議を開いており、5月頃に議事録が公表される予定である。

5. その他

1) 平成26年6月24日に、所轄庁である名古屋市に定款変更に係る手続きの書類を提出し、同日定款変更届出書が受理される。また定款変更の認証が平成26年10月15日交付される。

2) 平成26年7月7日に千種税務署、7月18日に名古屋東部県税事務所を訪ねて、法人の税金関係について質疑応答を交えて確認をする。

3) 名古屋栄市税事務所への「法人の設立・事務所事業所新設廃止申告書」が未提出であることが判明し、平成26年8月8日に同申告書を提出する。

4) メリジャパンの活動にご賛同・協力をいただいている名古屋市在住の鈴木忠男氏（篤志献血団体不老会元顧問）の、「手術手技研修センターの一日も早い設立を願う」と題する投稿文が、平成26年11月29日の中日新聞朝刊に掲載される。

5) 平成26年12月19日(金)にNHKの朝のニュース番組「おはよう日本」で、ご遺体(献血)を手術手技研修に使うことが普及しつつある現状等のレポートが放送された。またメリジャパンは取材協力をしている。

6) 今年度ワンコイン募金の申し込みはなかった。(累計¥147,800-)

以上